

協議会の活動

活動紹介

令和2年1月24日に宮城県「実践の場」（「牡蠣で東松島を盛り上げよう！～牡蠣を観光まちづくりのシンボルに～」）を開催しました。

「新しい東北」官民連携推進協議会は今年度も、宮城県を拠点とする協議会の副代表団体等による意見交換会を実施しています。

意見交換会の中では「沿岸地域の仕事の担い手不足解消」をテーマに議論を重ね、「東松島一体で観光まちづくりに取り組む枠組みの構築」および「東松島市におけるSDGsの達成」を目標として取組を行うこととしました。

これを踏まえ、「牡蠣で東松島を盛り上げよう！～牡蠣を観光まちづくりのシンボルに～」集中検討会を企画し、令和2年1月24日（金）に実施しました。

<<意見交換会等の協議会の活動はこちら>>

一覧に戻る 



▶ 新しい東北とは

- ・協議会の概要
- ・協議会の活用例
- ・設立趣意書
- ・設立人発起人名簿・御挨拶
- ・会員名簿
- ・3つの分科会
- ・運営要綱
- ・ロゴ・リンクバナー
- ・facebookページ

▶ 支援情報

- ▶ 会員募集・会員情報の変更

- ▶ 分野別ポータル

▶ これまでの取組・活動

- ・連携支援制度・セミナー制度
- ・「新しい東北」交流会
- ・「新しい東北」情報発信事業
- ・新しい東北×究極のお土産
- ・「新しい東北」キッチン
- ・共創力で進む東北プロジェクト
- ・ビジネス創業支援事業
- ・復興ビジネスコンテスト
- ・関係人口増加プロジェクト事業
- ・東日本大震災10年目企画
- ・10年を迎えた思い

▶ プレスリリース

- ▶ 会員の方へ（申請様式等）

- ▶ メールマガジン登録/解除

▶ ご利用にあたって

- ▶ プライバシーポリシー

▶ よくある質問

- ▶ サイトマップ

▶ お問い合わせ